

生徒達の活躍と成長②

過日、小学校6年生の保護者の方々を対象に「新入生保護者説明会」を開催しました。月日の流れの早さを実感します。小学校6年生の中学校訪問も無事に終了しました。約2ヶ月後には新1年生が入学してくる季節がやってきますが、現3年生は昨日、私立受験が終了し、国公立の入試も迫ってきています。いよいよ中学校生活の終盤です。

やはりこの入試時期には、突然寒くなったり、雪模様になったりと生徒達も保護者の方々にも心理的な負担が大きかったようです。本日、登校してきた3年生の生徒達に話しかけてみると「頑張れました。」「全力は出したつもりです。」と明るく答えてくれました。一つの大きな山を越して、ほっとしているのではないのでしょうか。寒さが厳しくなっています。小康状態だったインフルエンザにも気を付けたいものです。

先週は雨模様の日が続き、生徒達が校舎内で部活動の練習をしている姿が目立ちました。陸上部の生徒達は、いつも通り、しっかりとした自覚を持ち、自主的に練習メニューに取り組んでいました。練習中であってもすべての生徒達が「こんにちは」と元気に声を掛けてくれます。また、私が立っている姿を見て「失礼します。」と一言添えて、走っていきます。このようなところに、部活動で培ってきた成長が見られるのだと思います。清々しい姿をととても嬉しく思いますし、部活動に向き合う基本的な姿勢が素晴らしいと思います。部活動で培った気持ちを日常生活に生かしたり、通常の生活を他の活動に生かしたりしながら、1、2年生もさらに成長してほしいと思います。

ここ数日、昼休みに体育館で練習していた卒業式合唱団の姿を3年生の生徒達が聞いていて、ある男子生徒は「去年、僕たちが歌って先輩を送った歌なのに今度は送られる側になるんだ。」としみじみと話していました。このようにして伝統が継がれていき、代替わりしていくのだと思います。寂しくもあり、嬉しくもあり、とても複雑な季節ではありますが、若い世代の一生懸命な取り組みは本当に素晴らしい事だと感じます。

いつの時代も若い世代を表現する言葉として「最近の若い者は・・・。」という否定的な言葉がついて回ります。私のような世代の若かった時代にも「最近の若い者は・・・。」という言葉がありました。保護者の皆様も同様だったと思います。古代ギリシア時代にさえ「最近の若い者は・・・。」という言葉があったようです。長町中学校で生活している生徒達もいつの日か大人になった時、「最近の若い者は・・・。」という言葉が発するのかもしれませんが。しかし逆に、私達の世代が率先して良い行いをしているかということそれどころかと思う場面があります。地下鉄で平気で大きな声で騒いでいたり、あいさつをしても何も言わずに通り過ぎていたり、あいさつさえしなかったり。歩道で猛スピードを出して自転車で走り去ったり、平気で街中にゴミをポイ捨てしたり・・・。何も若者だけが常識を逸脱している事が多いわけではなく、様々な年齢の方々が気を付けなければならない事もあると思います。しかし何故、若者だけが話題とされるのかといえば、おそらく将来を担う人間としてより良く成長してほしいからなのかなと私なりに解釈しています。本校の生徒達を見ていると、一步一步成長しているのが分かります。「最近の長中生は・・・。」の後に続く言葉が肯定的な表現が多く使われるように、良さを認め、努力や辛さを理解しながら、彼らを見守っていきたいと思います。